

次のテキストを読んで、合っているものには○、そうでないものには×をつけなさい。

なつめそうせき
(夏目漱石はイギリス留学時代に、ロンドンでクレイグというシェイクスピア学者に英文学の個人教授を受けた)

はじめて会った時、*報酬^{ほうしゅう}は、と聞いたら、そうだな、とちよっと窓の外を見て、一回7シリングでどうだろう。多すぎればもっと*負けてもいい、と言われた。それで私は一回7シリングの計算で月末に全額を払うことにしていたが、時によると、*不意に先生から*催促^{さいそく}を受けることがあった。君、少し金があるから払ってってくれないか、などと言われる。自分はズボンの*隠し^{きんか}から金貨を出して、*むき出しに、「へえ」と言って渡すと、先生は、「やあ、すまん」と受け取りながら、*例の消極的な手を広げて、ちよっと手のひらの上で眺めたまま、やがてこれをズボンの隠しへ*収められる。困ることに、先生は決して釣りを渡さない。余分を来月へ繰り越そうとすると、次の週にまた、ちよっと書物を買いたいからなどと催促^{さいそく}されることがある。

(中略)

先生の得意なのは詩であった。詩を読むときには、顔から肩のあたりが*振動する。嘘じゃない。全く振動した。しかし、私に読んでくれるのではなくて、自分が一人で読んで楽しんでいることに*帰着してしまうから、つまりはこっちの損になる。いつかスウインバーンのロザモンドとかいうものを持って行ったら、先生は、「ちよっと見せたまえ」と言って、2、3行朗読^{ろうどく}したが、たちまち書物を膝の上へ伏せて、鼻眼鏡^{ひざ はなめがね}をわざわざはずして、「ああ、だめだめ、スウインバーンも、こんな詩を書くように老い込んだかなあ」と言って*嘆息された。私がスウインバーンの*傑作^{けつ}アタランタを読んでみようと思いだしたのはこの時である。

ある時、窓から首を出して、遙^{はる}かの下界を急がしそうに通る人を見下ろしながら、「君、あんなに人間が通るが、あのうちで詩のわかる者は100人に一人もいない。可哀^{かわい}そうなものだ。一体、イギリス人は、詩を理解することのできない国民でね。そこへいくと、アイルランド人はえらいものだ。はるかに高尚^{こうしょう}だ。実際、詩を味わうことのできる君だの僕だのは、幸福と言わなければならない」と言われた。自分のことを詩の分かる方の仲間へ入れてくれたのは*甚^{はなは}だありがたいが、その割合には取扱いが*すこぶる冷淡^{たんだん}である。私はこの先生において、まだ情愛というものを認めたことがない。全く機械的にしゃべっているおじいさん、としか思われなかった。

(中略)

私はその後しばらくして、先生の所へ行かなくなった。行かなくなる少し前に、先生は「日本の大学に西洋人の教授はいらないか、僕も若いと行くのだが」と言って、何となく*無常を感じたような顔をしていられた。先生の顔にセンチメントが出たのは、この時だけである。私が、「まだ若いじゃありません

んか」と言って慰^{なぐさ}めたら、「いやいや、いつどんなことがあるかわからない、もう56だから」と言って、元気のない顔になってしまった。

日本へ帰って2年ほどしたら、新着の文芸雑誌に、クレイグ氏が死んだという記事が出た。シェークスピアの専門学者であるということが、2、3行書き加えてあっただけである。私はその時雑誌を下へ置いて、先生が作っていたあの辞書はついに完成されなかったのか、と考えた。（夏目漱石「クレイグ先生」より）

語彙 報酬：受け取るお金、給料
負ける：安くする
不意に：突然、急に
催促：払ってほしいと言われること
隠し：ポケット
むき出し：そのまま
例の：いつもの
収める：しまう、入れる
振動する：ゆれる、わずかに動く
帰着する：結局そうなること
嘆息する：ためいきをつく
傑作：すばらしい作品
甚だ：とても
すこぶる：とても
無常：世の中のはかなさ、長く続かないことのはかなしさ

- 1・（ ） 漱石は月末ではないのに、たびたび個人レッスンのお金を払ってほしいとクレイグ先生に言われた。
- 2・（ ） 先生はお釣^つりをくれることはなかった。
- 3・（ ） 漱石は毎月7シリング払っていた。
- 4・（ ） 先生の最も得意な分野は詩であった。
- 5・（ ） 先生はスウインバーンのロザモンドは漱石には難しすぎて分らないと言った。
- 6・（ ） 漱石は先生の言葉がきっかけで、スウインバーンのアタランタを読んでみようと思った。
- 7・（ ） 先生はイギリス人よりアイルランド人のほうが詩をよく理解していると考えている。
- 8・（ ） 先生は温厚で親切な人だ。
- 9・（ ） クレイグ先生は日本で最も有名なシェークスピア学者だった。
- 10・（ ） クレイグ先生は漱石が日本へ帰って二年目に亡くなった。